

県外先進校の実践 —兵庫県の3校から学ぶ—

地道な取組により学力を着実に向上させている上郡中学校・竜が台中学校・中部中学校の具体的な事例を紹介します。

全教職員の協働的な取組により、確かな学力の向上を図る学校

上郡中学校の取組

この自学ノート



学力の定着

▶ 自主学習ノートの活用

- ・毎日提出 → 担任が点検・コメント記入
- ・毎週末 → 保護者がコメント記入
- ・家庭学習時間を毎日集計(『脳貯金』)し実態把握 → 取組内容や学習方法について個別指導

▶ 月6確認テストの実施

- ・週末課題 → 確認テストの実施(毎週月曜日6校時)
- 再テスト or 補充学習の実施

学習意欲の向上

▶ 各種検定(漢検・数検・英検)の奨励

- ・「卒業までに〇〇検定〇級取得」という個人目標設定

▶ 掲示物の工夫

- ・自主学習ノート、チャレンジ問題、各種小テスト結果、古語・英単語カード等の掲示

竜が台中学校の取組



学力の定着

▶ 自主学習ノートの活用

- ・毎日提出 → 担任が点検
- ・1年生5月 → 自主学習に関するガイダンス

▶ 「竜が台ノート」の活用

- ・「家庭学習の手引き」「テスト学習計画表」「テスト成績一覧貼付欄」の3つが一体となったノート
- 常時、成果と課題の確認が可能

▶ 竜が台基礎学力進級テスト(国・数・英)の実施

- ・7級～1級を全校生徒が受験 → 合格証の授与

授業改善

▶ 協同学習を取り入れた授業

- ・各単元1回以上実施



竜が台ノート

新たな指導法を取り入れ、授業改善を図る学校

中部中学校の取組

「わかる学力」の育成

▶ 協同的探究学習を取り入れた授業

協同的探究学習の進め方(1単位授業の流れ)

1. 導入問題
【アプローチ】

多様な考えや解法が可能な問題を提示する

2. 個別探究
【自己説明】

根拠や理由、自分の考えをもたせる(思考のプロセスを重視)

3. 協同探究
【関連づけ】

多様な考えや解法の発表と関連づけをクラス全体で行わせる

4. 展開問題
【本質理解】

協同探究場面での意見や考えを活かし、自力解決を行わせる

わかることによる学習意欲の向上

知識を関連づけて「わかった」という経験
↓
知識構造の再構造化
↓
知的好奇心や内発的動機づけの喚起
↓
「もっとわかりたい」「深く知りたい」という意欲